



A VOICE FOR ANIMALS

No.3

Autumn 1991

Printed on recycled paper to benefit the environment

このニューズレターは環境保護のため、再生紙を使用しています。

FRESH TRACKS

真の動物愛護へ知恵と力を！

ARKは今年、多くのマスメディアに取り上げられました。毎日放送が1時間のドキュメントを放送しましたし、テレビ大阪もニュースのコーナーで扱いました。また読売テレビ、NHKラジオもARKの活動を報道しました。こうした番組を通じて多くの人がARKの存在を知り、同時に捨てられた動物、行くあてのない動物たちの苦境をも知りました。そしてこのことは同時に「手に余る動物を引き取ってくれ」という要請がARKに多数舞い込む結果をも招きました。でも私たちはこうした事態に対してはいくつかの方法を用意しております。時間、場所、お金、そして支援者一。

一般的に言いますと、一つの小さな組織だけで、すべての迷える動物を救うというようなことは、到底不可能です。それ故、私たちが動物を救おうと努めるのに合わせて、多くの人にもまた、苦境にある動物たちの面倒を責任を持って見てもらい、適当な家を探す努力をしてもらうよう私たちは望んでおります。

人々はささいな理由で動物を遺棄します。もしどこかに、または誰かに相談することができたら、その理由は解決し、動物を捨てなくてもよかったことでしょう。こうした場合に適切な助言を提供し、動物が捨てられるのを防ぐのが、私たちARKの仕事なのです。

真の動物保護には啓発、避妊、十分なケアなどが必要です。そして私たちは結局はこうした手段、方法が多くの動物を救うことになると思っています。ARKにはこれを実現するため、より多くの支援と力を結集させようと常に努力しています。

ARKニューズレターは動物問題に興味ある人たちのためのものです。皆様のご意見やお便り、身近な話題など是非お寄せ下さい。自分のペットや助けた動物などにまつわる話題がありましたら、写真を添えて（できれば白黒）送って下さい。お子さんのお便りもお待ちしています。

また、ペットに関わるあらゆる相談ごと（病気その他）にもお答えするつもりです。ARKのネットワークを広げ、仲間を増やすために、皆様のお力を貸して下さい。



ARK has had a lot of media attention this year being featured in a one-hour documentary on MBS as well as on Osaka TV, Yomiuri TV and NHK radio. While this helps spread word of our activities and the plight of stray animals to more people, it also means that we get increasing requests to take in unwanted animals.

However many resources we have: time, money, space and help, it is impossible for one small organization to cope with and keep all these animals. While we try to help as much as possible, it is also the duty of those who rescue to share in the

responsibility of looking after these animals and searching for suitable homes.

People often consider giving up their pets for trivial reasons. Many of the problems can be solved through counselling and advice. It is our job to offer this advice and prevent a large number of pets from being thrown away and therefore becoming our problem. Rescuing itself is pointless unless it is backed up with education about spaying and better care of animals. In the long run we can save many more this way. ARK needs the help and energy of others to achieve this.